

第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画（案）からの変更箇所について
修正箇所一覧（頁は修正後の頁）

頁	項目・行数など	素案（旧）	案（新）
39	○滝川市環境市民委員会開催経過		「平成28年3月22日」 「第7回」 「第2次滝川市環境基本計画報告」 を追加
写真の修整			
8			空欄に「リサイクルフェア」の写真を追加
11		「開西中体育館」「ふれ愛の里風力発電」写真	「滝川第三小体育館」「滝川第三小太陽光パネル」写真に差替 (見やすい写真に差替)
14		「丸加高原」写真	「菜の花」写真に差替 (P3の丸加高原と同じ写真だったため差替)
29			空欄に「評価報告書提出」の写真を追加

(4) 課題

ごみ排出量は、ごみの分別方法の見直しや啓発活動などの取組の成果により減少しましたが、国や北海道の1人1日当たりのごみ排出量を上回っています。リサイクル率は、平成21年度までは低下し続けたものの、その後上昇傾向にあります。引き続き3Rの取組の徹底を図る必要があります。そのためには、私たち1人ひとりが生活を見直すとともに、ごみの減量化やリサイクル率向上につながる取組などについて考え、実践していくことが求められます。

また、生活環境を守るため、廃棄物を適正に処理することのほか、不法投棄やポイ捨てなどを防ぐため、環境美化に対する意識を高め、ボランティア活動を支援する取組が必要です。



(4) 課題

ごみ排出量は、ごみの分別方法の見直しや啓発活動などの取組の成果により減少しましたが、国や北海道の1人1日当たりのごみ排出量を上回っています。リサイクル率は、平成21年度までは低下し続けたものの、その後上昇傾向にあります。引き続き3Rの取組の徹底を図る必要があります。そのためには、私たち1人ひとりが生活を見直すとともに、ごみの減量化やリサイクル率向上につながる取組などについて考え、実践していくことが求められます。

また、生活環境を守るため、廃棄物を適正に処理することのほか、不法投棄やポイ捨てなどを防ぐため、環境美化に対する意識を高め、ボランティア活動を支援する取組が必要です。



(4) 課題

地球環境における課題の1つとして、地球温暖化があげられます。地球温暖化を防止するためには、温室効果ガスの発生を抑制する必要があり、太陽光発電など自然エネルギーの利用促進や省エネルギー機器であるLED照明の普及、公共交通機関の利用促進を図ることが求められます。

そのためには、私たち1人ひとりが地球温暖化についての知識を深め、どのような取組が必要なのかを考え、行動しなくてはなりません。市や関係機関はそのために必要な情報の収集に努め、様々な機会を通じて発信していく必要があります。



(4) 課題

地球環境における課題の1つとして、地球温暖化があげられます。地球温暖化を防止するためには、温室効果ガスの発生を抑制する必要があり、太陽光発電など自然エネルギーの利用促進や省エネルギー機器であるLED照明の普及、公共交通機関の利用促進を図ることが求められます。

そのためには、私たち1人ひとりが地球温暖化についての知識を深め、どのような取組が必要なのかを考え、行動しなくてはなりません。市や関係機関はそのために必要な情報の収集に努め、様々な機会を通じて発信していく必要があります。



(4) 課題

市内には石狩川と空知川の2大河川が流れ、まちに帯状の自然景観を生み出し、丸加高原などの森には開拓以前からの手つかずの貴重な自然が残っているほか、菜の花畑などの美しい農村景観も形成されており、身近な自然を学ぶことができる環境が整っています。これらの自然環境の保全を図るためには、身近な自然を学び、理解を深め、その関心を高めていくことが求められることから、豊かな自然を活用した学習の機会の提供や人材の育成が必要です。

最も身近な自然として公園や街路樹があり、これらは市民にやすらぎと憩いをもたらし、まちに緑の潤いを与えることから、今後も計画的で適正な維持管理が求められます。

環境にやさしい農業を促進することで自然環境の保全につながることから、それを支える取組が大切であり、それらに対する理解や関心を高めてもらうため、農業体験の機会の充実や地元農畜産物を活用した食育・地産地消の推進が必要です。



(4) 課題

市内には石狩川と空知川の2大河川が流れ、まちに帯状の自然景観を生み出し、丸加高原などの森には開拓以前からの手つかずの貴重な自然が残っているほか、菜の花畑などの美しい農村景観も形成されており、身近な自然を学ぶことができる環境が整っています。これらの自然環境の保全を図るためには、身近な自然を学び、理解を深め、その関心を高めていくことが求められることから、豊かな自然を活用した学習の機会の提供や人材の育成が必要です。

最も身近な自然として公園や街路樹があり、これらは市民にやすらぎと憩いをもたらし、まちに緑の潤いを与えることから、今後も計画的で適正な維持管理が求められます。

環境にやさしい農業を促進することで自然環境の保全につながることから、それを支える取組が大切であり、それらに対する理解や関心を高めてもらうため、農業体験の機会の充実や地元農畜産物を活用した食育・地産地消の推進が必要です。



3 計画の進行管理

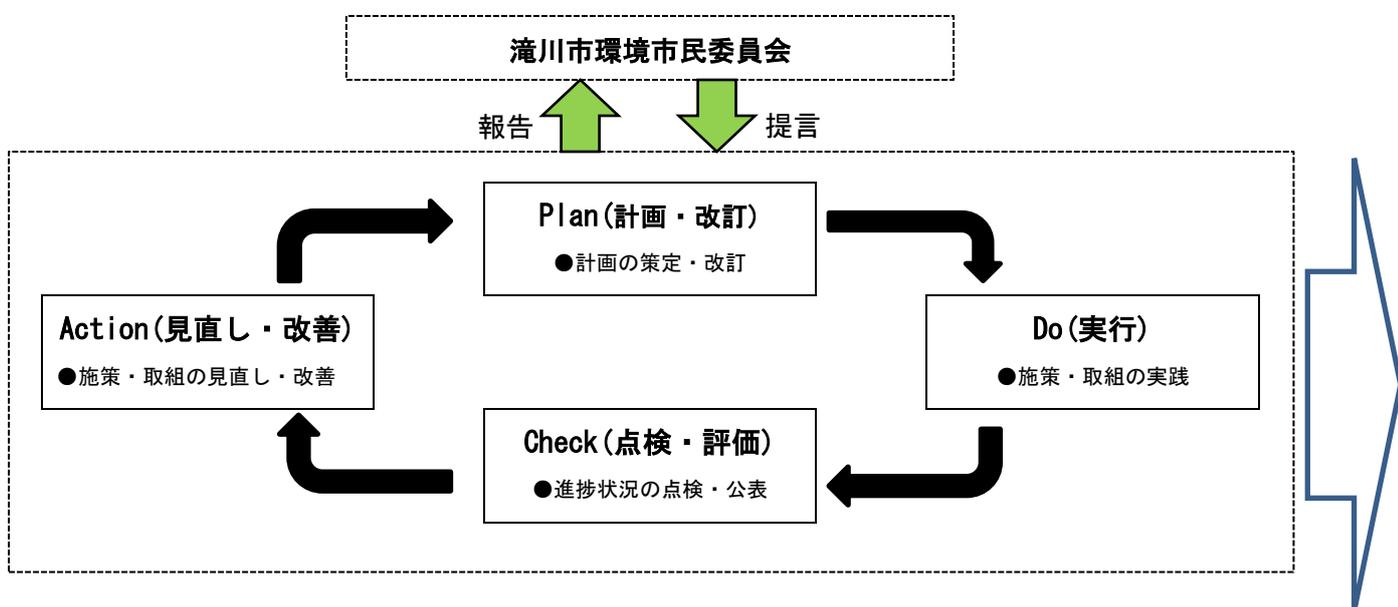
この計画を推進し、目指すべき環境の姿の実現を図るため、毎年定期的に全ての市の環境関連施策の実行状況を集約し、施策の効果の把握・評価を行い、継続的に改善を図ります。

以上のような状況把握と評価を行った上、滝川市環境市民委員会の意見などを参考にPDCAサイクル（Plan（計画・改定）、Do（実行）、Check（点検・評価）、Action（見直し・改善））の考え方にに基づき、取組内容が継続的に向上していくよう見直しに努めていくこととします。

集約した環境施策の状況については、進捗状況などを点検し、滝川市環境市民委員会に報告し、条例で定める「年次報告書の作成及び公表」の規定に基づき、ホームページなどで市民に公表します。

また、分野ごとに設定した成果指標についても、毎年確認を行い、評価を行います。

図12 PDCAサイクルによる進行管理



3 計画の進行管理

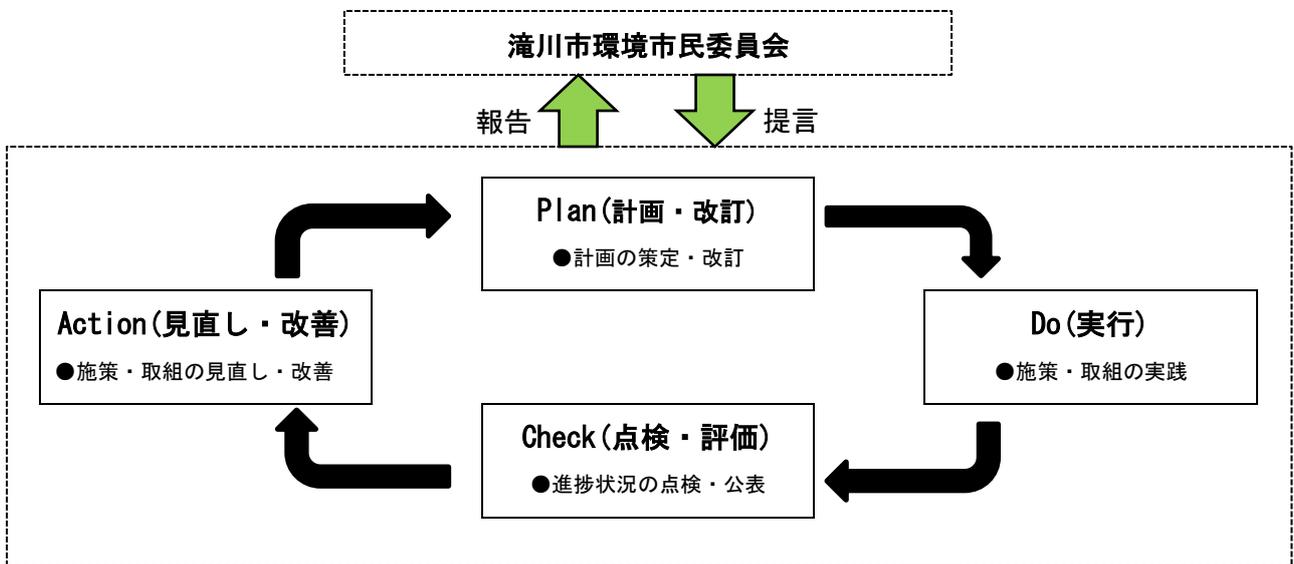
この計画を推進し、目指すべき環境の姿の実現を図るため、毎年定期的に全ての市の環境関連施策の実行状況を集約し、施策の効果の把握・評価を行い、継続的に改善を図ります。

以上のような状況把握と評価を行った上、滝川市環境市民委員会の意見などを参考にPDCAサイクル（Plan（計画・改定）、Do（実行）、Check（点検・評価）、Action（見直し・改善））の考え方にに基づき、取組内容が継続的に向上していくよう見直しに努めていくこととします。

集約した環境施策の状況については、進捗状況などを点検し、滝川市環境市民委員会に報告し、条例で定める「年次報告書の作成及び公表」の規定に基づき、ホームページなどで市民に公表します。

また、分野ごとに設定した成果指標についても、毎年確認を行い、評価を行います。

図12 PDCAサイクルによる進行管理



○滝川市環境市民委員会開催経過

開催日	回	内容
平成27年7月6日	第1回	委嘱状交付、委員長、副委員長選出
平成27年8月5日	第2回	第2次滝川市環境基本計画策定方針(素案)協議
平成27年9月2日	第3回	第2次滝川市環境基本計画(骨子案)協議 第2次滝川市環境基本計画ワークショップ開催①
平成27年10月9日	第4回	第2次滝川市環境基本計画ワークショップ開催②
平成27年10月22日	第5回	第2次滝川市環境基本計画ワークショップ開催③
平成27年12月18日	第6回	第2次滝川市環境基本計画(素案)協議
平成28年 月 日	第7回	
平成28年 月 日	第8回	
平成28年 月 日	第9回	



○滝川市環境市民委員会開催経過

開催日	回	内容
平成27年7月6日	第1回	委嘱状交付、委員長、副委員長選出
平成27年8月5日	第2回	第2次滝川市環境基本計画策定方針(素案)協議
平成27年9月2日	第3回	第2次滝川市環境基本計画(骨子案)協議 第2次滝川市環境基本計画ワークショップ開催①
平成27年10月9日	第4回	第2次滝川市環境基本計画ワークショップ開催②
平成27年10月22日	第5回	第2次滝川市環境基本計画ワークショップ開催③
平成27年12月18日	第6回	第2次滝川市環境基本計画(素案)協議
平成28年3月22日	第7回	第2次滝川市環境基本計画報告

